

東光原 NewsLetter

No.34
2020.2

Kumamoto
University
Lib



第12回 熊本大学東光原文学賞



受賞作決定!



『姉妹』

◎PN カルダモン咲

優秀賞 『おさむじやない』

◎PN 岸 燃料

優秀賞 『奇妙なティータイム』

◎PN リサリサのせきせき

優秀賞 『らせん階段のカンダタさん』

◎PN 南藻ナイ

目次

第12回 熊本大学東光原文学賞 受賞作決定	1
第12回 熊本大学東光原文学賞 受賞者インタビュー	2-3
第12回 熊本大学東光原文学賞 表彰式	4
薬学部分館 貸出条件変更の試行	4
熊本地震ライブラリ	4
図書館のできごと	4



図書館公認
キャラクター

くまぼん

——受賞作に込めた思いをお願いいたします。

カ：作品を読んでもらいたいです。読むことで、ふっと心を撫でられたり、ハッとさせられる瞬間がどこかにあれば願っています。行間の多い物語なので、その行間がどこかで広がってゆくこともたのしみです。

——小説を書いている過程で楽しかったこと、工夫したこと、苦労したことなどを教えてください。

カ：ずっと感じてきた書くことへの恥ずかしさが、だんだんとたくましくかっこいいものになってゆく体験をしました。とてもおもしろい体験でした！このすばらしい機会に感謝します。

——これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスを、もしくは他に伝えたい事などありましたらお願いします。

カ：書こうとする気持ちがそれぞれの中でたいせつに、銀箱にしまわれていたり毛布でくまわれていたり、あるいは素のままに煌々とかがやいていたりするといいなと思います。あらゆるところに潜んでいる階段を、互に見つけだすことができたならとてもたのしいことです。

——受賞作に込めた思いをお願いいたします。

岸：私がいま触れる相手が何を思ったり考えているのかは、様々な言動から推察するしかないと思います。その相手から「好き」と言われても、それが本心から出た言葉かどうか、私には知る由もないです。反対に、相手が「好き」だと思っても、それは伝えてくれないと私に伝わらないです。現代で表面化してきた「好き」という感情に取り巻く問題について、自分なりの解釈を表現してみました。

——小説を書いている過程で楽しかったこと、工夫したこと、苦労したことなどを教えてください。

岸：太宰治の恋愛観について、自分なりに考えたことを小説にしてみたいという一心で書き始めました。その上で、自分が世界と関わる中で疑問に感じていることを、虚構の世界に落とし込んでいきました。小説はおろか何かを創作する経験をしたことがなかったので、全てが手探りでした。細かい部分で苦労は幾つかありましたが、自分の中でアイデアがどんどん浮かんでくるのはとても愉快でした。

——これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスを、もしくは他に伝えたい事などありましたらお願いします。

岸：対人関係における気づきのモデルとして、ジョハリの窓という考え方があります。小説を書くことで秘密の窓と向き合うことができ、また選考委員の方々をはじめ感想を頂けたことによって盲点の窓が開けた気がします。

——受賞作に込めた思いをお願いいたします。

リ：はじめに小説を思いつききっかけとなった経験を紹介させていただきます。ある日のことなのですが、マンションの階下に住むご夫婦からおすそわけという黒いプリンを頂きました。それは黒ゴマプリンではなく、ご夫婦によると生乳と卵にイカ墨を入れてみたのだそうです。私はイカ墨プリンは見るのも聞くのも初めてで目を見張りましたが、ご夫婦は屈託なく笑っていらっしゃったのでごまごましながらもプリンを頂きました。正直、味はまずまずでしたが、何より、階下に住む人間がイカ墨プリンを作っていたという事実が当時の私には衝撃でした。そういえば縦方向に空間を共有しているにもかかわらず私はご夫婦のことを何も知らない。夕食の献立も、年齢も、好きな映画や音楽も何も知らないのだと初めて思い知らされ、その経験からこの小説を思いつきました。アパートという空間を細かく切り分けられたコミュニティで暮らす中で、ふとした拍子に面識のない階下のベランダにパンツを落としたら人は恥ずかしさのあまりどうになってしまうのか。あるいは薄い壁や床を隔てた隣に住む人が想像を絶するキャラクターを有している人物だったら…？そりゃなんだか面白そう（怖そう）という好奇心に似た思いを、私なりに小説に込めた次第であります。

——小説を書いている過程で楽しかったこと、工夫したこと、苦労したことなどを教えてください。

リ：作中の描写にリアリティを持たせるにはどうしたらいいのか悩み、小説を書くにあたって実際に来賓客に出廻らしの紅茶を淹れてみたり、自宅でパンツを階下のベランダに落としてみたりしました。まずい紅茶を出した来賓客からはお叱りを受け、マンションのエレベータには『下着類を干す際には洗濯ばさみの使用を！』と書かれた紙が張り出されていました。それらの経験はすべて楽しくもあり、私にとっては恥の経験でもありました。マンションの張り紙に関しては、誠に勝手ながら近々引っ越す予定なのでそのままにさせて頂いております。

——これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスを、もしくは他に伝えたい事などありましたらお願いします。

リ：書き終わった原稿をメールで提出したあとにご褒美のハーゲンダッツを頬張る瞬間は至高の中の至高のひとつなので、皆さんぜひ応募してみてください。

——受賞作に込めた思いをお願いいたします。

南：この頃、ちいさい子を見たときの「もう下の世代が来ている」という怯え。

——小説を書いている過程で楽しかったこと、工夫したこと、苦労したことなどを教えてください。

南：締切りギリギリに書いたので、そもそも完成させるのが大変でした。

——これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスを、もしくは他に伝えたい事などありましたらお願いします。

南：恥はかき捨てなので心を無にして書き上げましょう。

第12回 熊本大学東光原文学賞 表彰式

熊大生の言語力と創作意欲の更なる向上をとの願いのもと、2008年度に創設した「熊本大学 東光原文学賞」は、今年度で第12回を迎えました。熊本大学の前身、旧制五高では夏目漱石や小泉八雲が教鞭をとっており、五高卒業生には、寺田寅彦氏、萩原朔太郎氏、木下順二氏、中野孝次氏らが名を連ね、数多くの文化人を輩出しています。そんな先人に続けという思いもこめられた文学賞です。

本年度は、15篇の応募があり、審査の結果、大賞1篇、優秀賞3篇を選出しました。1/17(金)に中央館ラーニングcommonsにて執り行われた表彰式では、大賞・優秀賞発表に続いて、受賞者によるコメントをいただきました。さらに、選考委員の方々から、応募作のレベルが年々向上していること、表彰式が作者と読者の対話の場という有意義な場ともなっていること、これからも作品を書き続けて欲しい等々、熱い想いのこもった講評をいただき、受賞者を囲んでの晴れやかな式となりました。表彰式は、作者や選考委員の先生方の生の言葉を聞けるまたとない機会でもあります。ぜひみなさんご参加ください。

受賞者のみなさん、本当におめでとうございます。惜しくも受賞を逃したみなさん、ご応募ありがとうございました。次回作も期待しています。

受賞作品は作品集として3月に刊行予定です。図書館内にて無料配布しますので、ぜひ手に取ってご覧ください。また作品は図書館ホームページでも公開します(PDF)。

熊大キャンパスで生まれた作品の数々、存分にお楽しみください。そして次は、あなたからの作品投稿もお待ちしています。



薬学部分館 貸出条件変更の試行を実施中！

薬学部分館では、利用者サービス拡充のため、1月より貸出冊数及び貸出期間変更の試行を実施しています。この機会にぜひご利用ください。



種類	身分	貸出冊数	貸出期間
図書	学部生	5冊 (←3冊)	14日間 (←7日間)
	院生・教職員	5冊	14日間
雑誌	院生・教職員	5冊 (←不可)	7日間 (←不可)

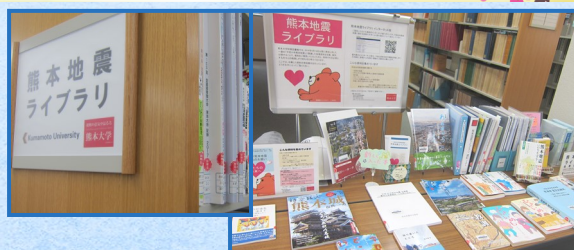
()内は変更前

図書館のできごと(2019.12~2020.1)

- 12/10 「論文投稿のポイントと研究倫理」開催
- 12/11 「第二回留学生からの発信&交流」イベント
- 12/11 附属図書館外部評価実地調査を実施
- 12/13~ Maruzen eBook Library 試読サービストライアルの実施(2020/2/10まで)
- 12/16~20 留学生向け「本と論文の探し方」個別相談会を実施
- 12/17・18 (図書館TAによる講習会)「いまさら聞けない!? レポート作成のコツ」を実施
- 12/18~ ロビー展示「誰にも借りられたことのない本~最初の読者になりませんか?~」
- 1/17 第12回「熊本大学東光原文学賞」表彰式 大賞・優秀賞発表
- 1/20~ 薬学部分館 貸出条件の変更の試行を実施

A クイズの答

図書館HPのバナーから過去の受賞作品をPDFで読むことができますよ。第3回からの作品集は閲覧室にもあるので貸出してじっくり読めるね。



熊本地震ライブラリ

平成28年4月14日以降に発生した一連の「平成28年熊本地震」に関連した各種資料を収集、保存、公開しています。

◆ **館内展示** (中央館南棟1階)
図書・雑誌・広報誌・研究報告書等に加え、パネルや写真の展示も行っています。開館中は自由にご覧いただけます。

◆ 熊本地震ライブラリWeb版

平成28年熊本地震に関する自治体や全国の大学による取り組みについて紹介しています。

図書館HPのスライドバナーをクリック

